# 社内講師を
# スペシャリストに！

●御社独自の研修スタイルを構築できます。
●研修コストを大幅に削減できます。

# IT 教育　講師養成講座

## 【新入社員教育編】

IT 革命の急速な進展に伴い、企業等の情報化は経営戦略そのものとなり、今後ますます高度情報化が進んでいきます。このような状況下で情報化の一端を担う技術者の育成、すなわち社内講師を教育のスペシャリストとして育てることは、企業にとって即戦力となる人材の発掘につながります。今回ご紹介する「IT 教育 講師養成講座」は、弊社が長年に渡って情報技術系の人材育成に携わってきた経験と実績を基にした新しい養成講座です。講義と実技、さらに通信講座をリンクさせ、経験豊富な講師陣が社内講師のプロを育てます。

■スケジュール

**講 義 編　　全 18 回**

第 1 課程：企業における教育研修のあり方（全 1 回）
第 2 課程：教授法～講師としての心得（全 6 回）
第 3 課程：コースの企画（全 2 回）
第 4 課程：コースの開発（全 5 回）
第 5 課程：コースの提供～運営と効果測定（全 1 回）
第 6 課程：実践演習～最終リハーサル（全 3 回）

**講 義 編　　全 18 回**

課題提出

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 講義 | 教育基礎理論 | 教授法 | 教授法 | 教授法 | 実践演習 |
| | コースの企画 | 教授法 | 教授法 | 教授法 | 実践演習 |
| | コースの企画 | コースの開発 | コースの開発 | コースの提供 | 実践演習 |
| | コースの開発 | コースの開発 | コースの開発 | | |
| 通信 | | 第 1 回 課題提出 | 第 2 回 課題提出 | 第 3 回 課題提出 | 第 4 回 課題提出 |

■受講期間：5 ヶ月間　　■受講定員：30 名

■受講資格
- ●「第 1 種」「ソフトウェア開発技術者」試験合格、または同等の知識を有する方。
- ●企業用業務アプリケーション、各種 OS、ネットワーク、開発言語に関する知識と実務経験があることが望ましい。
- ●システム開発の経験が有り、情報システムの専門技術を身につけ、人に教えたことがある。または、教えることに興味がある方。

■受講受付開始日：平成 18 年 10 月 2 日～
※先着順で受け付けておりますので、定員を超えた場合はお断りすることがあります。また、定員に満たない場合は、中止になることがあります。あらかじめご了承ください。

■費　用
入学金　10,000 円
受講料　260,000 円
［授業料：180,000 円、教材費：80,000 円］
※通信講座含む　※料金は全て税別

## 修了後のメリット

- ● 企業の経営戦略に沿った教育体系の充実が図れる。
- ● 最新のカリキュラムや市販されていない研修教材の入手ができる。
- ● 講師間のコミュニケーションが取りやすい環境なので、情報交換が行える。

## 講　義　　月 3～4 回（土・日に実施、9:00～5:00）／計 18 回

1～4 ヶ月間は、講師として必要な知識の習得･実技演習と新入社員研修の進め方を学習します。
5 ヶ月目は、講義の実践演習～最終リハーサル･インストラクター採用面接向け演習を行います。

### 《講義内容》

**企業における教育研修のあり方 教授活動～講師としての心得**
- ●効果的な話し方の技法
- ●非言語的コミュニケーション
- ●発問と応答の技法
- ●代表的な教育手法と適用上の留意点
- ●視聴覚メディア教材開発と効果的活用

**コースの企画**
- ●ニーズの収集と分析
- ●学習目標の設定
- ●コース企画提案書の作成
- ●新入社員研修教材の配布

**コースの開発**
- ●カリキュラムの作成
- ●テキストの作成
- ●演習問題とアンケートの作成
- ●コースの品質作り込みのしくみ
- ●研修教材・演習問題の実例

**コースの提供**
- ●コース案内書の書き方
- ●担当クラスの準備と後始末
- ●担当クラスの評価と改善
- ●研修コースの運営（クラス分け）
  ―個人演習・グループ演習―

**コースの効果測定と評価･改善**
- ●教育評価の目標と評価技法
- ●テスト問題と演習問題の品質保証
- ●受講者の反応分析とコースの評価
- ●行動評価の方法と結果の評価
- ●研修修了報告書の作成

**実践演習**
- ●講義の実践演習（最終リハーサル）
- ●インストラクター採用面接演習

※講義を欠席された場合、講義の模様を収録したビデオ等をお貸しいたしますので、次回の講義内容をスムーズに理解できます。

## 通信講座　　課題提出 4 回

今までのキャリアの中で、すでに身についている知識をもとに、新入社員研修で使用する教材の演習課題を解いていただき 5 ヶ月間の講義と並行しながら学習します。

### 《講座内容》

**テクニカル技術：演習課題の実践**

| | |
|---|---|
| ロジック構築研修 | ●プログラム開発の流れ<br>●詳細処理手順<br>●ロジック作成演習 |
| システム開発研修 | ●ユーザインタフェース設計<br>●プログラム構造設計<br>●システムテスト工程 |

**テクニカル技術：演習課題の実践**

| | |
|---|---|
| ロジック構築研修 | ●ロジック構築（JIS 流れ図編）テキスト |
| システム開発研修 | ●システム開発構築テキスト |
| 言語学習用教材 | ●C 言語－入門から基礎プログラミング･テキスト<br>または<br>●Java 言語－入門から基礎プログラミング･テキスト |
| その他 | ●IT（情報技術）入門テキスト（上巻･下巻） |

### 講座受講お申し込みの流れ

1. **電話予約**　お電話にてご予約下さい。予約番号をお知らせ致します。
2. **申込書記入**　申込書をコピーの上、ご利用下さい。予約の際にお知らせ致しました予約番号を必ずご記入下さい。
3. **申込書の送付**　ＦＡＸまたは郵送にてお送り下さい。
4. **スキルシート、アンケートの送付**　申込書の受付後、スキルシートと講座受講に関するアンケートをお送り致します。必要事項をご記入の上、ＦＡＸまたは郵送にてご返送下さい。
5. **書類選考～受講料の振込**　書類選考に合格された方には、受講許可証と受講料の振込用紙をお送り致します。
6. **申込完了**　受講料の入金が確認できましたら、教材等をお送り致します。